

○ 令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨等、近年、全国各地で水災害が激甚化・頻発化する中、有帆川水系においても、流域全体でハード・ソフト一体となった事前防災対策を進める必要があることから、あらゆる関係者の協働により、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川改修
- ・河川浚渫
- ・排水機場の老朽化対策
- ・既存ダムの有効活用
- ・砂防堰堤の整備
- ・農業用可動堰の改修
- ・水田の貯留機能向上
- ・森林の整備・保全及び治山対策

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・防災まちづくりの検討に必要な情報の整備

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・浸水想定区域図やハザードマップ等の作成・周知
- ・河川監視体制の強化
- ・防災アプリケーションの運用
- ・山陽小野田市防災気象情報システムの運用
- ・防災メール等の多様な手段による情報の発信・伝達
- ・出前講座等を活用した防災教育の推進
- ・自主防災組織の育成や活動の支援
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成や避難訓練の促進



山口県土木防災情報システム



昭和28年6月洪水 被害状況 (船木・六田)



橋梁架替状況(船木地区)



【位置図】

有帆川水系

凡例

- 二級河川
- 流域界
- 洪水浸水想定区域【計画規模(1/100)】
- 洪水浸水想定区域【想定最大】
- 洪水浸水想定区域図の公表済み区間

※地理院地図に浸水想定範囲を追記して掲載

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

○ 有帆川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の工程で「流域治水」を推進する。

| 区分 | 対策内容 | 実施主体 | 工程 | | |
|-------------------------------|-------------------------|--------------------|---|--------|-------------|
| | | | 短期 | 中期 | 中長期 |
| 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 | 河川改修 | 山口県 | <small>国道船木大橋架け替え完了</small> 護岸工、橋梁工、河道掘削工等 | | |
| | 河川浚渫 | 山口県、宇部市 | 河川浚渫 | | |
| | 排水機場の老朽化対策 | 山口県 | 継続的に施設の機能を保全 | | |
| | 既存ダムの有効活用 | 山口県 | ダムの事前放流等の実施 | | |
| | 砂防堰堤の整備 | 山口県 | 大休川 | | 継続的な砂防堰堤の整備 |
| | 農業用可動堰の改修 | 山口県 | 可動堰改修 | 石井手堰 | |
| | 水田の貯留機能向上 | 山口県、宇部市、美祢市 | ほ場整備、田んぼダムの検討等 | | |
| 被害対象を減少させるための対策 | 森林の整備・保全及び治山対策 | 山口県、宇部市、山陽小野田市、美祢市 | 森林の整備・保全、治山対策 | | |
| | 防災まちづくりの検討に必要な情報の整備 | 山口県 | 多段階な浸水リスク情報 | | |
| 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 | 浸水想定区域図やハザードマップ等の作成・周知 | 山口県、宇部市、山陽小野田市、美祢市 | 作成・周知・利活用 | | |
| | 河川監視体制の強化 | 山口県、宇部市、山陽小野田市、美祢市 | <small>R5山口県土木防災情報システムのリニューアル</small> システム更新 簡易型水位計・河川監視カメラ等の整備・利活用 | | |
| | 防災アプリケーションの運用 | 美祢市 | 周知・利活用 | | |
| | 山陽小野田市防災気象情報システムの運用 | 山陽小野田市 | <small>R3整備</small> 河川監視カメラ・雨量計の整備 | 周知・利活用 | |
| | 防災メール等の多様な手段による情報の発信・伝達 | 山口県、宇部市、山陽小野田市、美祢市 | 機能強化・普及・啓発 | | |
| | 出前講座等を活用した防災教育の推進 | 山口県、宇部市、山陽小野田市、美祢市 | 防災教育の充実・強化 | | |
| | 自主防災組織の育成や活動の支援 | 山口県、宇部市、山陽小野田市、美祢市 | 率先避難体制の整備・地域防災力の向上 | | |
| 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成や避難訓練の促進 | 山口県、宇部市、山陽小野田市、美祢市 | 避難の実効性確保 | | | |

気候変動を踏まえたさらなる対策を推進